

高江ヘリパッド工事強行は自治の侵害

## 「住民の安心とやんばるの森の

### 自然環境の保全を求める意見書」可決

沖縄本島北部に広がる森林地帯は「やんばるの森」と呼ばれ、ヤンバルクイナやノグチゲラなど世界でも希少な動植物が生息する生物多様性の宝庫です。

この森に存在する広大な米軍北部訓練場を一部返還する代わりに、新たにヘリパッド(オスプレイ着陸帯)建設が進められています。計画では、住民150人ほどの東村高江集落を取り囲むように6つの新たなヘリパッドを建設することになり、琉球新報(8月3日付)調査では、住民の80%が建設に反対しています。

沖縄県議会は7月21日、北部訓練場ヘリパッド建設に反対する意見書を政府に提出しましたが、全国から動員された機動隊員によって反対する住民は排除され、工事が強行されました。現地では、県道の封鎖、立木の伐採、新聞記者の拘束など警察権力の逸脱行為が続き、抗議の声が高まっています。さらに、9月13日には、自衛隊ヘリコプターが工事用資機材を運搬するという異例の事態がおきました。

憲法に保障された基本的人権の尊重、国民主権に基づき、沖縄の米軍基地・ヘリパッド建設反対の地元自治体、住民の民意は尊重されるべきです。対話を通じて解決の道を探るべきであり、自治と人権を尊重する立場から、生活の安心と自然環境の保全を求める意見書を賛成多数(15:10)で可決しました。



今年8月、「辺野古アクションむさしの」のメンバーで高江テントを訪問  
沖縄平和運動センター山城博治議長と



工事ゲートに向けて、東村の県道70号線を、警察車両とともに砂利を積んだトラックが優先されて通りすぎる  
(機動隊員に制止された車中から撮影)

## 福島原発事故は終わらない 4月26日

チェルノブイリ原発事故から30年の日。いわき市から、広野町、楡葉町、富岡町へ、来年3月に指定解除となる居住制限区域と、帰還困難区域を視察。写真は、居住を促す区域と道一本隔てて、フェンスで囲われた帰還困難区域。(自治体議員有志の「福島原発震災情報センター」視察)



## もっと女性議員を! 7月3日

参議院選挙ラストサンデー、新宿紀伊国屋前で。国会議員の女性の割合は1割ちょっと。列国議会同盟76国のうち、日本は52番…もし、国会に女性が過半数いたら、昨年の安全保障関連法案は廃案にできたはず。武蔵野市議会は26人中10人が女性、無論、数だけの問題ではないですが。

